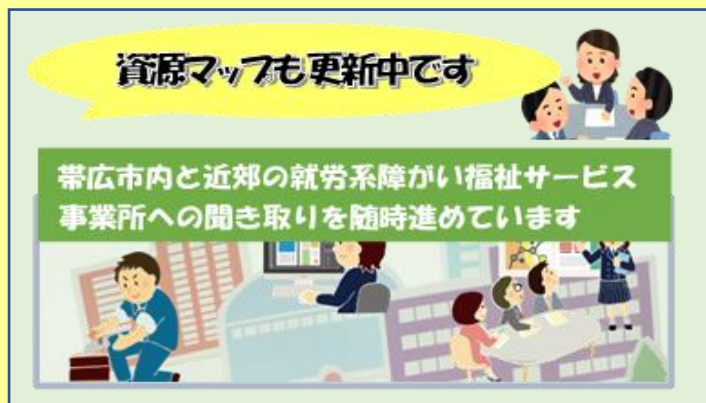




令和 3 年 3 月 10 日 (水)

地域活動支援センター
ぼてとハウス (帯広市)

就労継続支援 B 型事業所
あいとう (帯広市)

就労継続支援 B 型事業所
ココスマイルノア (帯広市)

地域活動支援センター ぼてとハウス (地活)

主に身体障がいをお持ちの方が特別支援学校等の卒業後に通える場が身近になく、日中活動先・地域交流の場を設けることを目的に、親の会が立ち上げ現在に至っているようです。地域から利用のニーズがありながらも、医療的ケア等の手厚い関わりを要する方がほとんどのため、更に利用者数を増やすことは難しいようですが、親御さんや昔から携わっていらっしゃるボランティアの方の協力も得ながら、通所されている皆さんの日々の充実を目指し、事業所の活動をさせているようです。



支援員の原田さんにご対応いただきました。

就労継続支援 B 型事業所 あいとう (B 型)

社会福祉法人帯広福祉協会では、主に知的障がいをお持ちの方が通所・入所されています。平成 20 年頃、利用者さん達が地域へ移行し活動・生活されていくことを目指し就労継続支援 B 型事業所として指定を受けたそうです。事業所の主な活動として、リサイクル石鹸作りやオリジナル作品の作成、事業所外での清掃作業があり、作成した製品の販売については祭事等がなくなったことをきっかけに新たにネット販売を始めたとのことでした。また現在はお休み中とのことですが、企業見学会等のプログラムもあり、仕事のイメージや意欲を高めるきっかけ作りとして開催されていたようです。



サービス管理責任者の黒田さんにご対応いただきました。

合同会社リノケア ココスマイルノア (B 型)

開設して 4 年を迎える女性専用の事業所で、職員もほぼ女性で構成されています。作業活動はペーパーフラワーや羊毛フェルトリース作成等の軽作業、牛のもくし作り、施設外就労先での清掃等があるそうです。コロナ禍においては在宅ワークを取り入れ、事業所での活動再開の折には、環境面の感染対策に加えて、手洗いの方法を改めて確認するなど、利用者さんの不安感の軽減に努められたとのことでした。その結果、利用者さんそれぞれの目標に向けた活動を、現在も変わらず継続されているというお話を伺いました。



サービス管理責任者の中川さんにご対応いただきました。(写真はハート型のペーパーフラワー作品です)

今後も訪問を進めて参りますので、よろしくお願いいたします